

# 事業仕分け傍聴者アンケートの結果

## 傍聴者受け付け状況

### 1. 住所別

| 市内    | 市外    | 合計   |
|-------|-------|------|
| 211人  | 190人  | 401人 |
| (53%) | (47%) | 100% |

### 2. 男女別

| 男     | 女     | 合計   |
|-------|-------|------|
| 314人  | 87人   | 401人 |
| (78%) | (22%) | 100% |

### 3. 職種

| 会社員  | 自営業  | 学生   | 議員   | 公務員   | その他   | 合計   |
|------|------|------|------|-------|-------|------|
| 34人  | 13人  | 14人  | 24人  | 244人  | 72人   | 401人 |
| (8%) | (3%) | (3%) | (6%) | (61%) | (18%) | 100% |

### 4. 年齢別

| 20歳未満 | 20歳代 | 30歳代  | 40歳代  | 50歳代  | 60歳代  | 70歳代 | 80歳以上 | 不明   | 合計   |
|-------|------|-------|-------|-------|-------|------|-------|------|------|
| 11人   | 22人  | 65人   | 102人  | 135人  | 53人   | 10人  | 1人    | 2人   | 401人 |
| (3%)  | (5%) | (16%) | (25%) | (34%) | (13%) | (2%) | (0%)  | (0%) | 100% |

## アンケート結果

※傍聴者総数401人 回答数 151人(回答率37.7%)

| Q1 | お住まい | 市内           | 市外           |
|----|------|--------------|--------------|
|    |      | 77人<br>(51%) | 74人<br>(49%) |

| Q2 | 本市の「事業仕分け」をどちらでお知りになりましたか。 ※複数選択可 | 小田原市ホームページ   | 広報おだわら       | 構想日本のホームページ  | タウン誌       | その他          | 未記入        |
|----|-----------------------------------|--------------|--------------|--------------|------------|--------------|------------|
|    |                                   | 49人<br>(26%) | 27人<br>(15%) | 29人<br>(16%) | 6人<br>(3%) | 68人<br>(37%) | 6人<br>(3%) |

| Q3 | 職員(説明者)の説明は、わかりやすかったですか。 | 1. とてもわかりやすかった | 2. わかりやすかった  | 3. どちらともいえない | 4. わかりにくかった  | 5. とてもわかりにくかった | 未記入        |
|----|--------------------------|----------------|--------------|--------------|--------------|----------------|------------|
|    |                          | 6人<br>(4%)     | 38人<br>(25%) | 61人<br>(40%) | 32人<br>(21%) | 6人<br>(4%)     | 8人<br>(5%) |

| Q4 | 事業仕分けに用いた資料等は、わかりやすかったですか。 | 1. とてもわかりやすかった | 2. わかりやすかった  | 3. どちらともいえない | 4. わかりにくかった  | 5. とてもわかりにくかった | 未記入        |
|----|----------------------------|----------------|--------------|--------------|--------------|----------------|------------|
|    |                            | 0人<br>(0%)     | 56人<br>(37%) | 56人<br>(37%) | 28人<br>(19%) | 7人<br>(5%)     | 4人<br>(3%) |

| Q5 | 仕分け人の質疑等やりとりはいかがでしたか | 1. とてもわかりやすかった | 2. わかりやすかった  | 3. どちらともいえない | 4. わかりにくかった | 5. とてもわかりにくかった | 未記入        |
|----|----------------------|----------------|--------------|--------------|-------------|----------------|------------|
|    |                      | 21人<br>(14%)   | 63人<br>(42%) | 47人<br>(31%) | 13人<br>(9%) | 2人<br>(1%)     | 5人<br>(3%) |

| Q6 | 事業仕分けにより市の事業を見直すことについてどうお考えですか。 | 1. とても有効である  | 2. 有効である     | 3. どちらともいえない | 4. あまり有効ではない | 5. 有効ではない  | 未記入        |
|----|---------------------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|------------|------------|
|    |                                 | 45人<br>(30%) | 66人<br>(44%) | 25人<br>(17%) | 9人<br>(6%)   | 4人<br>(3%) | 2人<br>(1%) |

| Q7 | 事業仕分けを今後も継続して実施していくべきだと思いますか | 1. とてもそう思う   | 2. そう思う      | 3. どちらともいえない | 4. あまりそう思わない | 5. まったく思わない | 未記入        |
|----|------------------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|-------------|------------|
|    |                              | 42人<br>(28%) | 65人<br>(43%) | 26人<br>(17%) | 9人<br>(6%)   | 7人<br>(5%)  | 2人<br>(1%) |

Q8 今回の事業以外に仕分けを行ったほうが良いと思う市の事業はありますか？

- 全事業実施すべき
- 部門間で連携しているような事業
- 対象外の施設についても民間委託の範囲を広げて欲しい
- 支所の窓口の数について
- 消費者庁が出来たので、それに関連した事業があれば
- 高齢者配食サービス
- 審議会の必要性や委員への謝礼について
- 職員研修事業
- 職員厚生事業
- 給与管理事務
- 観光事業
- 中小企業支援に関する事業
- 新規事業の事前仕分け
- 補助金事業
- 生涯学習関連事業
- 安心・安全に関する事業
- 市民ホールの建設
- 国民健康保険事業
- 介護保険事業
- 防災関連事業
- 環境保護に関連する事業
- 学童保育や障害者に対する事業は仕分けの対象外
- 自治会の運営と市の関係について
- 病院事業
- 各手数料や減免規定
- 消防関連事業
- 新聞など定期購入品の見直し。
- 社会福祉事業
- ヒルトン小田原
- 総合計画立案事業

## Q9 事業仕分け全体を通してお気づきの点等があればご記入ください

- 配布資料は最小限で、紙の無駄です。パソコン上で、事前にダウンロードできるようにすれば済む。
- 議会のやり取りより具体的で、よく分かり勉強になる。
- 職員の説明を公衆の前で行うことは、市民の行政に対する関心度が高まる1つの方法だと思う。
- 4箇所なので見学したい事業をうまく選べない。2箇所にして欲しかった。
- (仕分けをやらなければならないことは) 首長や議会の怠慢といえるのかも。
- 仕分け人の意見は議員のように市民の代表たる正統性があるわけではないのだから、職員は、もっと正面から議論、反論して良いと感じた。
- 仕分け人の男女比のバランスが良くない。
- 多くの傍聴者がいるのは市民の関心の高さだと思う。
- 市職員の負担が大変大きいと思いますが、効果が大きいと思いますので、どうぞよろしくをお願いします。
- 市民目線による一層の評価が必要。遠慮は要らない。
- その事業に誇りを持ってやっているかどうかによって、仕分けも違ってくる。
- 仕分け基準として、費用削減志向が主流だったことに懸念をもった。
- 仕分け人が良く勉強しているのに驚いた。
- 市長マニフェストの基本思想戦略をベースに検討すべき。
- 仕分け人の質問に対し、ピント外れで長すぎる説明が見受けられた。職員はもっと簡潔な説明を心がけるべき、説明者はもっと訓練して欲しい。
- 事業ごとの仕分けより、市役所の予算付けの考えを市幹部(財政畑)に質疑するべき。
- 市民の代表である市議会議員にも傍聴させたほうが良い。
- 別の視点で事業を見直すのにいい刺激になる。多くの市民、職員が傍聴すべき。
- 事業の見直し、新規事業を立ち上げ時の注意点を知らせかけとして良い。
- 職員にも仕分け人にも議論のレベル・質に差があり、このような不安定な仕分けに市の事業が左右されることは望ましくない。
- 仕分け人になるための資格(要件)があるのかは不明だが、声の大きいもの、弁の立つものが場を支配してしまい公平な議論が出来ていない。
- 仕分け人が、仕分け方法を理解しているか疑問に思う点があった。
- 他の自治体の職員です。このような取り組みを拝見させていただき、とても参考になりました。
- 30分程度の説明等で、仕分け人がどこまで理解できるのか。
- 選択する事業の難しさを感じた。
- 多数決のときに、傍聴者も参加することが出来ませんか？
- 費用を削減しなければならないために廃止する(必要性はあるが経費削減を優先する)のか、このあたりの目標を明確にしないと、ただのディベートになる。
- 仕分け人と行政側に、これに臨むスタンスの違いが見られた。
- 大学・高校・中学の授業に取り入れられませんか？

- 「事業仕分け」自体は「当該自治体事業を否定するものではない」との前提であるが、やり取りを聞いていると、それに近いものを感じる場面があった。
- 行政に携わるものとして、全てを客観的に説明することの難しさを改めて感じる機会となった。
- 小田原は住民サービスをやりすぎていると思う。(市外住民の意見)
- 時間を気にしない進捗があった。職員の説明のときに、仕分け人同士で目を合わせて笑っている場面は不愉快だった。
- 行政実務に精通した仕分け人が必要不可欠。全ては政策の優先順位である。有効な事業であっても中止を決断し、政策効果の高いものを選択せざるを得ない。
- 新しい課題に対する財源は、事業のスクラップが不可欠。政治的、行政の継続性の観点から内部からの中止は言い難いだろう。その意味でも市民仕分け人の役割は重要。若い傍聴人の多さに小田原の未来を感じた。
- 目的志向、PDCA サイクルを常に意識する事務改善、財政改革を期待します。
- 短時間で、妥当な結論が出されていたと思います。なお、詳しい検証の場があるとよいと思われました。
- 小田原の実情を理解せずに、自分の尺度で判定していることが多く感じられた。
- 具体の改善が、翌年度予算にどのように反映されたかを市民の前に明らかにして欲しい。
- 仕分け人が、行政職員のみは問題あり。
- 市民仕分け人は、小田原の特色をもった意見を言って欲しい。
- 仕分け人は何を言っても失うものがないのに対し、市側は失う恐れがある。人数も6：3（その事業は）市側に不利である。市の弁護人を買って出たくなります。
- 課長の説明では、市の熱意が伝わらないので、担当主査に説明させたほうが良い
- 改善にかかる職員の労力も考慮が必要。
- 全て市民一人ひとりに関わる大切な事業であり、外部評価者の特定の考え方で決め付けには何の希望も見出せない。行財政改革は市民が主役で行うもの。中止すべきだ。
- 傍聴者仕分けシートの収集もきわめて有意義であると考えます。傍聴者のアンケートも公表するなどして仕分け結果を多面的に検証すべきと考えます。
- 公開したことは良かった。市民の意識改革にも繋がる。協働にも繋がる。
- だんだんと他の自治体にも広がっていくことがよいと思う。我々市民も大いに関心を持っていくべきであると思う。
- 市の担当者の姿勢は仕分け以前の問題ではないか
- 仕分け人が「自分の活動や提言を見ていないのはおかしい」という言い方はおかしい。上から見下ろすような意見はおかしい。
- 表面的な刺激にとどまる可能盛が大。
- 市職員の緊張感が出てくると思います。